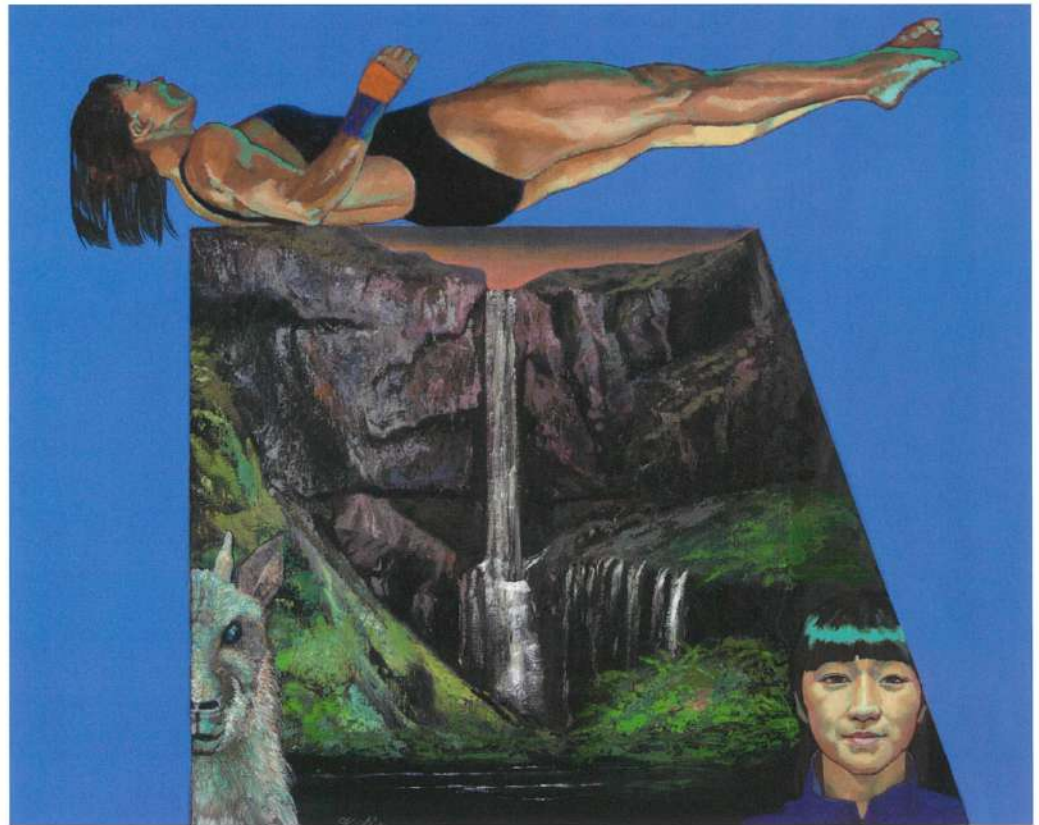




人のかたち  
せつな  
刹那のかたち

阿部勝則 佛淵静子



佛淵静子《夏鏡》2021 麻紙・墨・銀箔、阿部勝則《滝》2022 油彩【株式会社アークベル所蔵】

同時開催 館蔵刀剣展  
乱れ刃の華

2022年

8月5日[金]~10月2日[日]

■開館時間：9:30~17:00 (入館は16:30まで) ■休館日：火曜日  
■入館料：一般500円、小・中学生200円 ※団体(20名以上)各50円引き  
※障がい者手帳(ミライロID含む)提示で各100円引き  
※「大地の芸術祭パスポート」提示で各50円引き【割引併用は不可】

星と森の詩美術館

〒948-0101 新潟県十日町市稲葉1099-1 TEL 025-752-7202  
http://www.hoshi-uta-m.jp FAX 025-752-7203

阿部勝則 佛淵静子

# 人のかたち

# 刹那のかたち

2022. 8. 5 fri. - 10. 2 sun.



阿部勝則《視天》2017 油彩・金箔

阿部勝則は幼少の頃レンブラントに憧れ、新潟大学では春陽会の画家・長森聰の研究室に所属して洋画を学びます。大学院修了後は高等学校の教員となり、公務の傍ら絵の制作を続けています。

阿部は学生時代に、「リアリズムの技法を用いて作者の内面世界を表現する」というテーマを抱き、魂に錘鉛を下ろしていくような制作を志します。しかし牧野邦夫や鴨居玲、カラヴァッジオやウィーン幻想派の画家たちなどの影響下にある制作に窮屈さを感じ始め、発表をためらうようになり、再び、より自由に「培った技術を用いて好き勝手に絵が描けるようになった」のは、40代の終わり頃からでした。

本展の出品作はこの40代後半以降の作品から選ばれています。この時期の作品は「かたち」をないがしろにせず「人」を追求した、いわば原点返りの制作です。

比較的素直なデッサンと構図で人体を扱う写実風の作品を中心に、祭壇画形式を採用した大作や箔貼りの特殊な技法の作品などに加え、ささやかな立体作品が並びますが、どの一点にも阿部の美術史に対する広範な興味関心が表れています。

佛淵静子は多摩美術大学及び大学院で日本画を学び、その後個展を中心に様々な展覧会に出品を続けています。

初期は岩絵具を用いた色味のある作品を制作していましたが、いつしかその画面は細い『線』による、モノクロームを基調とした透明感溢れるものになりました。その独特なスタイルは「たまご色の麻紙の空間を、線で図と地に切り分けて、極浅い色の変化の中で、人体を成り立たせたい」という発想から生まれたものと思われる。

佛淵は「人物を描くときに、できるだけ情感を込めずに、フォルムの美しさ、端部の面白さを追求して描いていきたい気持ちがあり、モデルには現代舞踏のダンサーや身近な人を頼んでいます」と語りますが、その絵の多くは着実な写生の技法に基づく、端正で無駄のない白描です。即物的で楚々とした画面でありながら、不思議な情感、微かな心の揺らぎを感じさせ、時に「脱臼したような静かな表現が特異な存在」（「アートコレクター106号」と評される、人の形、刹那の形の美しさ、面白さに満ちています。

今展では阿部勝則と佛淵静子共に、旧作から近作まで各々約20点を展覧いたします。



佛淵静子《むすび》2008  
麻紙・墨・胡粉・岩絵の具・金箔  
右：《風読み》2011 麻紙・墨・胡粉・岩絵の具



阿部勝則《横たわる》2016 油彩

## 阿部 勝則 (あべ・かつのり)

- 1964 新潟県南魚沼郡塩沢町(現 南魚沼市)に生まれる
- 1988 第56回独立美術協会入展入選(東京都美術館)
- 1989 新潟大学大学院修了  
公立高校教員となる
- 「阿部勝則・丸井武馬2人展」出品(新潟市美術館)
- 1998 小説『殉教刀デリナ車輪』で船川哲也賞受賞(飛鳥部勝則名義)  
以降、自作の絵を組み込んだ小説を発表する
- 2002 「飛鳥部勝則個展」開催(直野堂城/銀座)
- 2015 「『NかMか』阿部勝則・佛淵静子展」出品(ギャラリー創/長岡)
- 2016 「『NかMかII』展」出品(ギャラリー名芳洞/名古屋)
- 「第5回美男画展」出品(ぎやらいい朋/銀座)
- 2017 個展兼「『NかMかIII』展」出品(ぎやらいい朋/銀座)
- 2018 「天然絵画vs.養殖絵画展」出品(ぎやらいい朋/銀座)
- 2019 「『NかMかIV』展」出品(ギャラリー名芳洞/名古屋)
- 2022 第29回アークベル市民アマチュア絵画展に「電」出品【洋画部門最優秀賞】
- 現在 新潟県十日町市在住、新潟県美術家連盟会員、十日町市芸術協会会員  
日本推理作家協会会員、本格ミステリ作家クラブ会員、変格ミステリ作家クラブ会員

## 佛淵 静子 (ほとけぶち・しずこ)

- 1974 東京都に生まれる
- 1997 「GAKUGAON 日本画3人展」出品(ギャラリーアセン/国立)
- 1998 多摩美術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業
- 2000 多摩美術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻修了
- 2001 個展開催(ギャラリーアセン/国立) '02、04も開催
- 2007 第18回飛騨高山臥龍楼日本画大賞入賞(岐阜)
- 「動と静の境界 清田悠紀子・佛淵静子二人展」出品(みゆき画廊/銀座)
- 2008 個展開催(楽田悦子画廊/銀座) '09~'12、'14、'17も開催
- 2009 「第44回昭和会展」招待出品(日動画廊/銀座)
- 2010 「white vision 楽田悦明・佛淵静子二人展」出品(GALERIE SOL/銀座)
- 2012 個展開催(GALERIE SOL/銀座) '15も開催
- 2013 個展開催(ギャラリー名芳洞 blanc/名古屋)
- 個展開催(講画廊/銀座) '14、'16も開催
- 2015 「『NかMか』阿部勝則・佛淵静子展」出品(ギャラリー創/長岡)  
以降、'16、'17、'19開催の同展に出品
- 2016 個展開催(ギャラリー創/長岡)
- 2017 「游子 阿部清子・佛淵静子二人展」出品(Gallery Suchi/日本橋)
- 「吾輩の猫」展」出品(佐藤美術館/東京)
- 2021 個展開催(Gallery Suchi/日本橋)
- 第10回菅原虎大賞出品(鳥取県倉吉市)
- 現在 新潟県十日町市在住



## 阿部勝則さん、佛淵静子さんのギャラリートーク開催 (予約制)

[日 時] 9月3日(土) 14:00~ ※ご予約と入館料が必要です  
[予約受付] 星と森の詩美術館 電話 025-752-7202 ※定員になり次第、受付を終了いたします

## 同時開催 館蔵刀剣展 乱れ刃の華



脇指《於越後國義光作之ノ平成五年春吉祥日》

直刃の刃文に絞った前回の展覧会に引き続き、今展では、乱れ刃に焦点を当てた日本刀の展覧会を開催いたします。「乱れ刃」と一口に言っても備前伝に代表される華やかな丁子や互の目などの刃文もあれば、沸の煌めきで魅せる相州系もあります。鎌倉時代前期の古刀から現代刀まで、選りすぐりの乱れ刃を10余口、所蔵刀より展覧いたします。

## 星と森の詩美術館

- ◇ 開館時間：9:30~17:00 (入館は16:30まで)
- ◇ 休館日：火曜日
- ◇ 入館料：一般500円、小・中学生200円



〒948-0101 新潟県十日町市稲葉1099-1 TEL 025-752-7202 FAX 025-752-7203 <http://www.hoshi-uta-m.jp>

[交通アクセス] ◆ JR飯山線・ほくほく線「十日町駅」より車で10分

- 関越自動車道「越後川口IC」より R117経由25分
- 北陸自動車道「柏崎IC」より R252経由50分
- 関越自動車道「六日町IC」より R253経由35分
- 北陸自動車道「上越IC」より R253経由70分

